

クロバーミニ織りで作る キーホルダー



【さんかく】 【ボーダー】 【つぶつぶ】

デザイン/アラキケイ

出来上がりサイズ (キーホルダーパーツを除く)
たて約 10.5cm× よこ約 8cm

<使用道具>

57-968 クロバーミニ織り
<https://clover.co.jp/products/57968>

58-101 ジャンボとし針
<https://clover.co.jp/products/58101>

36-666 カットワークはさみ115



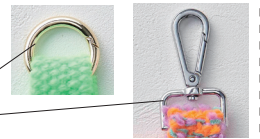
<材料>

中細～極太タイプの糸

(見本作品の使用糸の詳細はそれぞれの作り方の所に記載しています)

キーホルダーパーツ

- ・丸型カラビナ (内径25～30mm程度のもの)
- ・アミナスカン (内径25～30mm程度のもの)



※「クロバーミニ織り」の使い方については、商品付属の説明書をご覧ください。

【さんかく】



糸A: 極太毛糸 ダルマ「iroiro NEON」(202)

糸B: 並太毛糸 ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸<並太>」(513)

※()内の数字は色番です

<作り方> ①～②、⑫～⑮は【さんかく・ボーダー・つぶつぶ】共通です。

①糸Aでたて糸を16本張ります。

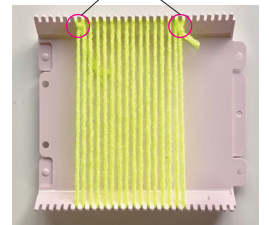
糸の端に輪を作って織り歯に掛けてスタートします。

16本張れたら最後はたて糸1本分より少し長めに糸を残してカットし、織り歯にちょうど掛かるくらいの位置で輪を作り、織り歯に掛けて糸を引き締めます。

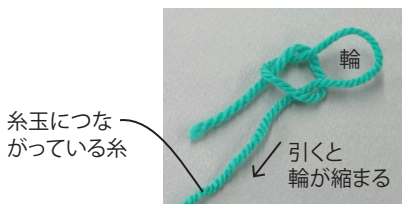
たて糸はゆるまないように糸を引きながらしっかり張ります。

※画像は糸の色を変えています

糸端は両方も織り機の上側になります



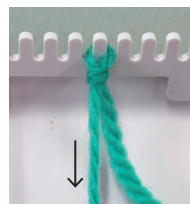
●たて糸を張り始めるときの糸端の結び方



糸玉につながっている糸

引くと輪が縮まる

糸玉につながっている糸を引くと輪が縮まるように結ぶ



輪を織り歯に掛け、糸玉につながっている糸を引いて引き締める

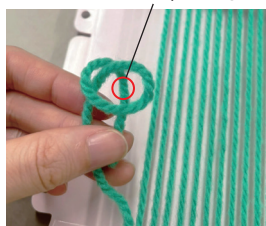
※糸端を結ぶ方法については、商品付属の説明書のように織り機の穴に結ぶ形でも大丈夫です。

●たて糸の最後の糸端の結び方



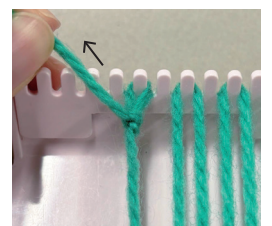
糸端を輪の後ろに持ってくる

この糸をつまんで輪にする



引くと輪が縮まる

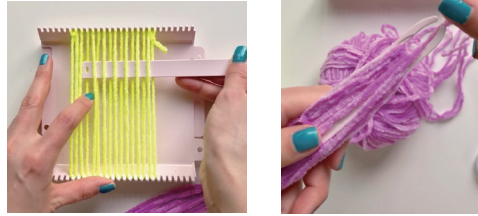
糸端を引くと輪が縮まるように結ぶ



輪を織り歯に掛け、糸端をしっかり引いて引き締める

最後はたて糸1本分より少し長めに糸を残してカットし、ギリギリ織り歯に掛けられる位置に輪を作って結ぶ

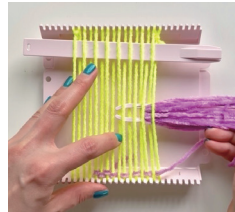
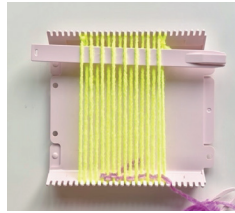
②持ち上げバーを偶数列のたて糸に差し込みます。



③糸Bをシャトルに巻きます。

④まず糸Bで織っていきます。

左側から4本のたて糸は織らないのでとばし、5本目から織っていきます。持ち上げバーを立てて、シャトルを左から右へ通します(1段目)。糸端は5cmほど残し、少し内側(右側)に通して裏側に出しておきます。



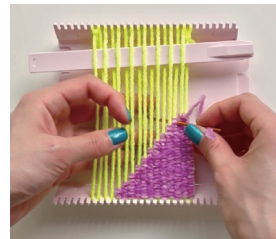
⑤次は右側からシャトルを通します(2段目)。

たて糸の奇数列をシャトルですくいながら通し、織り始めの位置まで進みます。

⑥④、⑤を繰り返して6段織ります。

⑦たて糸の折り返す位置を右側に1本ずらして6段織ります。

以降、6段ごとにたて糸の折り返す位置を右にずらしながら、織るたて糸が2本になるまで織っていきます(右図参照)。

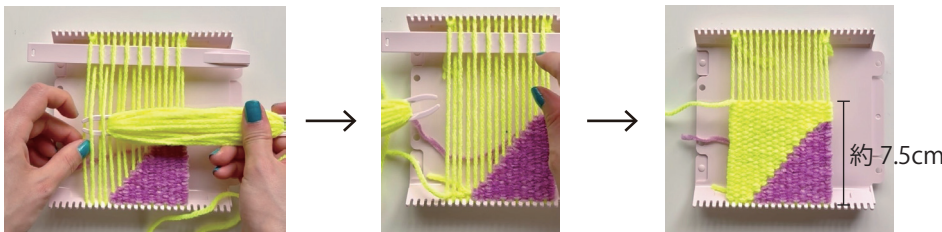


⑧糸Bの最後の糸端は約10cm残してカットし、内側(左側)に少し入れて裏側に出しておきます。

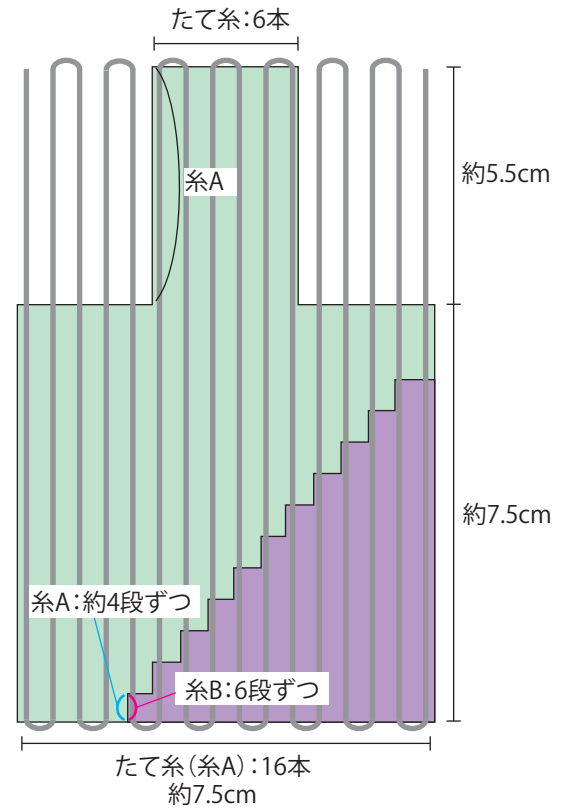
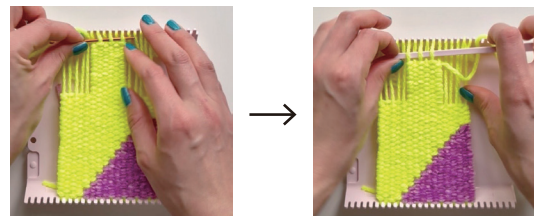
⑨シャトルに糸Aを巻きます(シャトルにまだ糸Bが残っている場合は外します)。

⑩シャトルに巻いた糸Aで、残りの部分を織って埋めていきます。

一段目は右側からシャトルを通し、糸端はこれまで同様に裏側に出しておきます。大体4段ずつで織っていきますが、糸Bで織った部分の高さと合うように様子を見ながら段数を増減させて調整してください。織り地が約7.5cmの長さになるまで織ります。



⑪同じく糸Aでたて糸の中央6本にだけ織っていきます(シャトルでは通しにくいので織り針やとじ針を使います)。織り機が一番上まで織ります。織り終わりの糸端は後で使うので30cm程度残しておきます。



⑫織り地を織り機から外し、織り地が均等になるように手で伸ばして整えます。



⑬長く出ているたて糸の輪になっている部分をはさみでカットし、1本ずつとじ針で始末します。糸端が短いので、まずとじ針を織り地の裏側に少し通してからとじ針の穴に糸端を通し、織り地の中に糸端を通します(1~2cm程度)。余分な糸はカットします。



この糸端は始末せず
このままにしておく

とじ針を織り地に通した状態で
糸端をとじ針の穴に通す

始末した後の余分な糸端は
織り地のきわでカットする

⑭織り地の裏側に出ている織り始めや織り終わりの糸端も1本ずつ織り地の中を通して始末します。
※織り地の中央に細長く織った部分の終わりの糸端(約30cm)は始末しないでそのままにしておきます。



⑮織り地の中央に細長く織った部分にアミナスカンを通し、裏側に向けて半分に折ります。
残しておいた糸端を使って織り地に縫い付けて完成です。

カラビナなど後から付けられるタイプのパーツを使う場合は、パーツを通さずに折って縫い付けます。



織り地の端を織り地に
縫い付ける

【ボーダー】



糸A:極太毛糸 ダルマ「iroiro NEON」(204)
糸B:並太毛糸 ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸<並太>」(509)

<作り方>

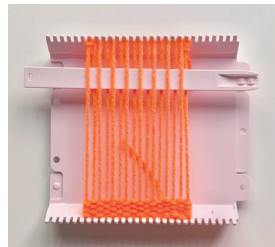
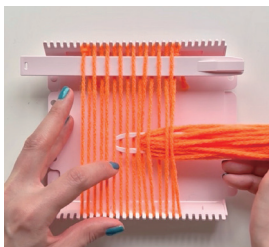
①【さんかく】の作り方①~②と同様に糸Aでたて糸を16本張り、持ち上げバーを偶数列のたて糸に差し込みます。糸Aをシャトルに巻きます。

②シャトルを使って糸Aを6段織ります。

1段目は右側からたて糸の奇数列をシャトルですくいながら通し、2段目は持ち上げバーを立てて左側から通して織ります。最初の糸端は約5cm残し、一段目を織ったあとたて糸に少し通して裏側に出しておきます。

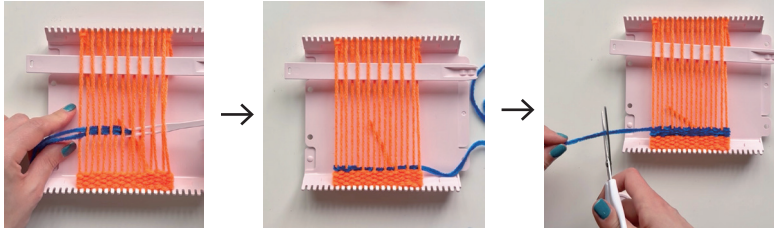
同様に3段目から6段目まで織ります。

織った後の糸端は5cmほどにカットし、織り地の右側から内側(左側)へ少し通し、裏側に出します。

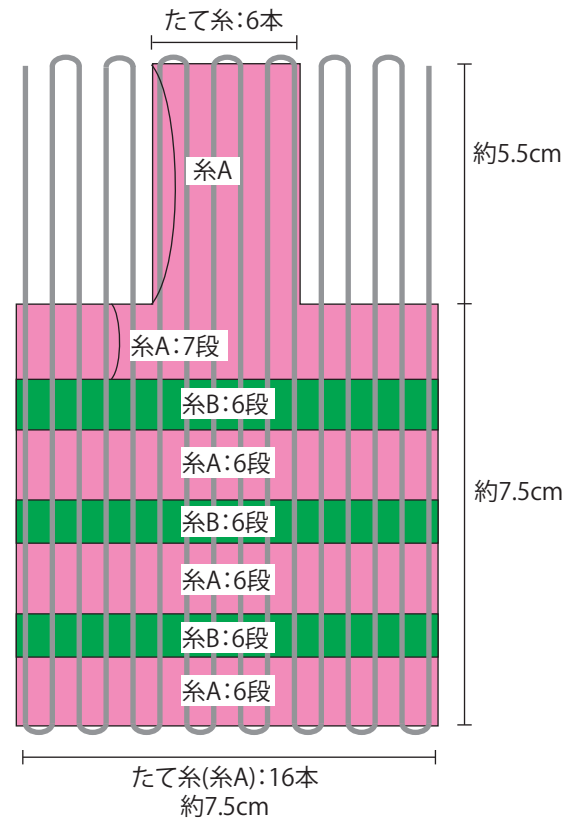
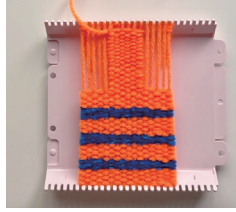


6段織れたところ

- ③糸Bを織り針に通し、左側から入れて織っていきます。
6段織ります。最初と最後の糸端の処理はこれまでと同様です。



- ④右の図を参考に、糸Aと糸Bを交互に織っていきます。
⑤糸Bがすべて織れたら、糸Aで7段織り、
続けてたて糸の中央6本にだけ織っていきます
（【さんかく】の作り方⑪と同様）。
⑥【さんかく】の作り方⑫～⑮と同様に仕上げます。



【つぶつぶ】

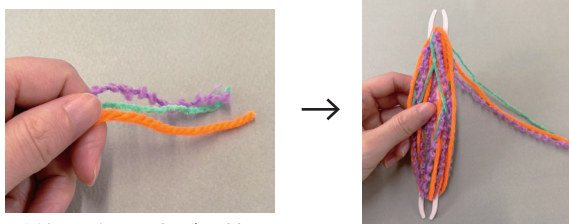


糸A: 極太毛糸 ダルマ「iroiro NEON」(203)
糸B: 下記の3種類の毛糸を引き揃えて使用する。

- ・極太毛糸 ダルマ「iroiro NEON」(203)
- ・中細毛糸 ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸」(322)
- ・極太ループヤーン ハマナカ「ポニー ループ」(005)

<作り方>

- ①【さんかく】の作り方①～②と同様に糸Aでたて糸を16本張り、
持ち上げバーを偶数列のたて糸に差し込みます。
糸Bをシャトルに巻きます。糸Bは3種類の糸を引き揃えて使います。



3種類の糸を1本ずつ持ち、
そのままシャトルに巻く

- ②シャトルを使って織っていきます。
織り地が7.5cmの長さになるまで織ります。
③続けてたて糸の中央6本にだけ織っていきます（【さんかく】の作り方⑪と同様）
④【さんかく】の作り方⑫～⑮と同様に仕上げます。

